

サーキュラーエコノミー(循環型経済)による新たなビジネスモデル創出に取り組む事業者に対して支援

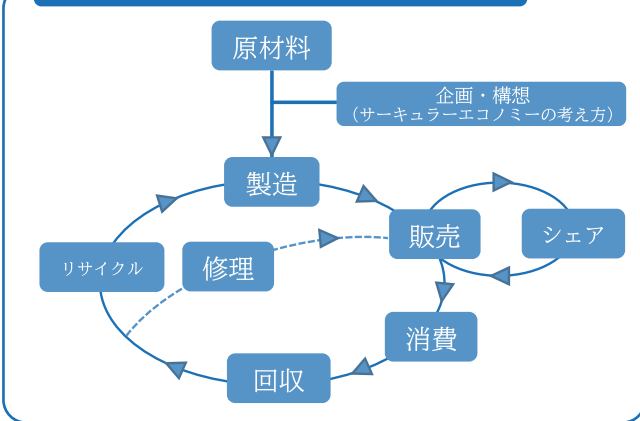
事業の概要

市内事業者が国・県その他機関の認定を受け開発した(サーキュラーエコノミー推進にかかる)新技術・新製品について、市外企業などと連携した、普及・改良、認知度向上、販路獲得、設備投資などを通じ、新たなビジネスモデルを創出する取り組みに補助金を交付することで、本市の産業振興および企業誘致を目指すもの。

【補助額等】

補助対象経費の2/3以内(上限700万円)

サーキュラーエコノミーのイメージ(一例)



委員会での主な論議(産業建設文教委員会)

- Q (具体的に) どのような支援を考えているのか。
- A 魚の残渣^{さんさ}を使った液肥の商品化や、液肥を作る機械を製品化するための改良・実証事業に対する支援などを想定している。
- Q この事業は、ジビエ残渣の問題や、堆肥の循環化に対する取り組みなどが、あらゆる分野に広がっていく可能性を秘めているが、他課と連携していく考えはあるのか。
- A 地場産業の振興を図るためにも、関係する課に情報提供を行い、市内事業者と市外企業のマッチングや、その後の経済活動につながるよう進めていきたい。

※サーキュラーエコノミー(循環型経済)
資源・製品の価値の最大化を図り、資源の効率的かつ循環的な利用を図る経済活動。

令和6年度平戸市一般会計補正予算(第1号) -歳入「やらんば!平戸」応援基金※繰入金- サーキュラーエコノミー型ビジネス創出支援事業への基金充当の考え方は

委員会での主な論議(総務厚生委員会)

- Q 従来の循環型社会構築と、今回新たに事業化された「サーキュラーエコノミー型ビジネス」をどのようにすみ分けし、どのような考えで基金を充当することにしたのか。
- A (基金充当の考え方については)従来の循環型社会との違いは特にはない。
本市では平成26年に「CO2排出ゼロ都市宣言」、令和2年に「ゼロカーボンシティひらど」を表明し、CO2排出実質ゼロに取

り組んでいる。これらを踏まえた上で、本事業は市内事業者と市外企業が連携した循環型経済に資する新たな事業であり、企業誘致や産業振興の観点から(必要と判断し)、基金を充当することとした。

※「やらんば!平戸」応援基金
ふるさと納税寄附金(「やらんば!平戸」応援寄附金)を適正に管理し、寄附者の意向を反映した施策を効果的に運用するため設置された基金のこと。



令和5年度の地域おこし協力隊導入実績に応じて、予算を減額補正

事業内容

人口減少や高齢化などの影響が著しい本市において、地域外の人材を誘致・活用し、その



予算補正の理由

令和5年度当初予算で、地域おこし協力隊6人分の任用経費を計上していたが、任用実績が2人であったため、その導入費用を減額するもの。

委員会での主な論議(総務厚生委員会)

- Q 具体的にどういった分野での任用を予定していたのか。また、任用が無かった分野において影響は無かったのか。
- A 生月地区・大島地区において和牛ヘルパーを各1人、紙漉の里に1人、その他新規分1人を予定していた。
和牛ヘルパーについては任用できなかったことで、結果として畜産農家の負担軽減につながらなかった。

マイナ保険証への移行に向けた必要経費を増額補正

予算補正の理由

国の関係法令に基づき、本年12月2日から、現在の健康保険証の新規発行を終了し、マイナ保険証(健康保険証の利用登録をしたマイナンバーカード)を基本とする仕組みに移行される。これに伴い、全ての被保険者が安心してマイナ保険証を利用できるよう、保険者(平戸市国保・長崎県後期高齢者医療広域連合)の把握する加入者情報を被保険者本人に通知する経費のほか、平戸市国保においては、保険証が廃止される日から、マイナ保険証に移行していない人を対象に「資格確認証」を交付する必要があるため、システムの改修経費を増額するもの。



委員会での主な論議(総務厚生委員会)

- Q 国保・後期高齢者医療の被保険者におけるマイナンバーカードと保険証との紐付け状況は、現状どうなっているか。
- A 紐付けが完了しているマイナ保険証の登録状況は、令和6年4月末現在で以下の通り
 - ・国保 4,515人/7,305人(61.8%)
 - ・後期高齢者医療 3,382人/6,639人(50.9%)
- Q マイナ保険証の登録をしていない人には資格確認証が発行されることになり、手続きの事務が出てくることから、マイナ保険証登録勧奨の周知が必要では。
- A マイナ保険証を取得していても、大多数が現在の保険証を利用している状況。登録だけでなく利用促進も必要と考えており、国が作成するリーフレットを配布して周知したい。